

同志社EVEアカデミック企画 地域と大学をつなぐ学術シンポジウム
博物館展示『Broken Promises破られた約束』@ハリス理化学館合同企画

誰かがあなたの家や持ち物、自由を

奪ってしまふことを想像してみてください

BROKEN PROMISES PROMESSES BRISÉES

日系移民史から考える戦争と人権

—世代と国を超えたパブリックヒストリー構築への試み—

2024年11月27日（水）15:30～17:30

良心館107番教室

1942年、カナダ政府は21,460人の日系カナダ人を太平洋岸地域から強制的に立ち退かせました。日系人は一人スーツケース2つに入るだけの荷物を持って列車に乗り込みました。後に残した家、畑、店、車、船、家具、思い出の写真、子どものおもちゃ、日本の家族からの贈り物……。カナダ政府が保護すると約束した全ての財産は、まもなく没収され、持ち主の同意なく安く売り払われました。戦中を内陸部の強制収容所で過ごした彼らは、さらに戦後東部へと追いやられるか、日本に国外追放されました。

このシンポジウムでは、この出来事の直接の体験者にお話を聞くとともに、日系カナダ移民史の研究者、地方再生の観点から移民母村で活動する大学生などを交え、戦争と差別、人権について考えます。

登壇者:

- 和泉真澄（同志社大学アメリカ研究所所長）…「太平洋戦争下の日系カナダ人」
- 伊吹三樹雄（カナダからの戦後帰国者）……「カナダ人として生まれ、日本人として生きる」
- 三尾たかえ（カナダミュージアム館長）……「カナダ移民輩出の村 三尾の取り組みと地方再生」
- 松田法子（京都府立大学）……「三尾の民家建築とカナダ移民」
- 河原典史（立命館大学）……「同志社とカナダ移民」
- 河上幸子（京都外国語大学）+京都外大生……「日系カナダ移民史の次世代継承」



博物館展示『破られた約束—太平洋戦争下の日系カナダ人』(ハリス理化学館にて開催中)と併せて、皆様のご来場をお待ちしております！

主催：「Broken Promises破られた約束」日本巡回展示実行委員会

共催：同志社大学アメリカ研究所部門研究3「Transient Subjects: Unsettled Settlers」

科研（基盤研究B）「出移民史を通じて次世代育成のための地域密着型パブリックヒストリーの構築」